



「アートを扱った映画って難しそう」「作品についてもっと知りたい!」という方の想いに応えるべく始まった「岐阜新聞映画部アートサロン」! 第5回は映画『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』を題材に、岐阜市立図書館館長の吉成信夫さんにナビゲートしてもらいます。

岐阜新聞 映画部

【協賛】キリンビール株式会社 大和証券
【協力】キネマ旬報社 【企画・制作】岐阜新聞社営業局

世界中の図書館員の憧れの的、
ニューヨーク有数の観光スポット、世界最大級の知の殿堂。
その舞台裏から、この図書館が世界で最も有名である<理由>が見えてくる。
巨匠フレデリック・ワイズマン監督の傑作ドキュメンタリー。

『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』

上映&トークイベント

7/13(土) 全席自由



吉成信夫
(よしなり・のおお)

1956年東京生まれ。岩手県立児童館初代館長、NPO法人岩手子ども環境研究所理事長などを歴任し、平成27年7月の中央図書館開館に伴う公募により、岐阜市立図書館館長に就任。

- 会場／岐阜CINEX 岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)
- 定員／80名
- ナビゲーター／吉成信夫さん(岐阜市立図書館館長)
- 料金／大人:2,000円 大学生:1,500円
小・中・高校:1,000円 シニア:1,100円(いずれも税込)

12:30~15:55 『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』上映

16:05~16:50 吉成信夫さんトークイベント



▶ 解説

現在89歳、2016年にはアカデミー賞名誉賞も受賞している“行ける伝説”ワイズマン監督が「世界で最も有名な図書館」といわれるニューヨーク公共図書館の、一般の来訪者では見ることのできない舞台裏をふんだんに捉えた。デジタル時代になり、図書館をいかに存続させるかが、世界中で大きな関心事となっている現代に必見の傑作ドキュメンタリーである。本館を含む計92の分館に6000万点のコレクションを誇る世界屈指の知の殿堂は、地域の住民はもちろん、研究者たちへの徹底的なサービスで、世界中の図書館員の憧れの図書館と言われている。

監督・録音・編集・製作:フレデリック・ワイズマン 配給:ミモザフィルムズ/ムヴィオラ 時間:205分 [アメリカ]

© 2017 EX LIBRIS Films LLC - All Rights Reserved

★岐阜CINEXでの上映は7/13(土)~19(金)を予定

岐阜CINEX劇場窓口、WEB・ファミリーマートにてチケット販売中!!

WEB・ファミリーマートでご購入の方へ

※お申し込みには「岐阜新聞映画部チケット」への会員登録(無料)が必要です。
※チケット券面額以外に手数料が別途掛かります。

WEB・ファミリーマートでの購入方法はこちら

<https://www.funuity.jp/tickets/gifus/showlist>



お問い合わせ

岐阜CINEX TEL 058-264-7151

岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)